

人と音を結ぶ

Classic
Nagoya

クラシック名古屋

〒460-0024
名古屋市中区正木四丁目8番7号れんが橋1F
TEL (052) 678-5310 FAX (052) 678-5330
<https://clanago.com>

プレイガイド

アイ♡チケット

☎ 0570-00-5310



ナゴヤ劇場ジャーナル

◆発行／マネージメント・プロ ◆編集／プランニングオフィス白壁 ◆協賛／クラシック名古屋



M&P
MANAGEMENT PRO



業務内容

- ①舞台イベントの企画・制作・マネージメント
- ②芸術コンサルティング
- ③タレントのマネージメント
- ④ナゴヤ劇場ジャーナルの発行

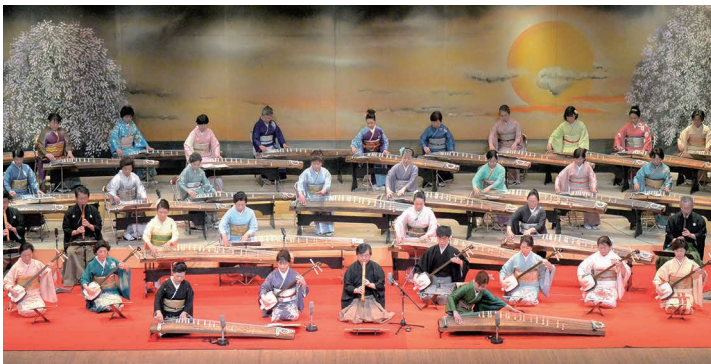
株式会社 マネプロ

〒461-0004 名古屋市東区東区2-11-22 アバンテージ装ビル301

TEL: 052-508-5095 FAX: 052-508-5097

E-mail: mane-pro@mane-pro.com

HP: <http://www.mane-pro.com>



盛大に創立60周年記念公演

全国から達人迎え9月23日 御園座で



藤原 道山



野村祐子家元



野村 峰山

箏曲正絃社

名古屋を拠点に、国内34都道府県と海外（オーストラリア、ブラジル）で活動を展開する「箏曲正絃社」（野村祐子・二代目家元）が創立60周年を迎え、9月23日（午前11時〜午後5時）御園座で記念公演を催す。

正絃社は1965年に野村正峰・秀子夫妻が創立。優れた邦楽作曲家でもあった初代家元・正峰（2011年他界）の高い音楽性と、秀子の面倒見の良きで多くの門下生を育成。8月には正絃社を設立した峰山、秀子を主人公にした演劇公演「飛翔」（作、演出・伊藤敬）が名古屋市東文化小

劇場で開催され多数の市民が訪れた。

2002年には長女・祐子が二代目家元を引き



名古屋市名東区上社3-1903
☎ 052-739-6155
OPEN 11:00-19:00(水曜日は17:00まで)



子、三女・倫子、夫で尺

八奏者の峰山とともに正絃社の基盤を拡張。峰山は2022年、東海地区芸能部門で初の重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定された。

記念公演には一門の幹部、主力のほか、全国から箏曲の米川敏子（研箏会家元）、山登松和（山田流箏曲山登派家元）、菊武厚詞（当道友楽会家元）、菊重精峰（峰の会主宰）、尺八の藤原道山（都山流道山会主宰）ほか豪華客演陣を迎え、全24曲（うち9曲が野村正峰作曲作品を披露する。全自由席80000円。TEL052(241)2114。

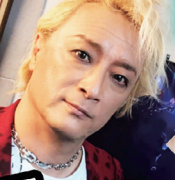
ウィーン・名古屋

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のサウンドを追及する「フィルハーモニー・ウィーン・名古屋」が10月25日（午後6時30分）岐阜市のサランマンカホールで「第23回演奏会」を催す。

今回はウィーン・フィルのチェロ奏者ベルンハルト・直樹・ヘーデンボルクを迎え、ドヴォルザークの「チェロ協奏曲」と、人気の高い「新世界より」を演奏する。指揮は武藤英明が務める。

全自由席20000円。

TEL080(4096)1842。



DIE

DIE *meets* crystal PIANO

feat. YU-KI and Suefuji Aki



support guitar : Delphy



YU-KI



末藤亜季

2025. 9/6 sat

open 18:00 / start 18:30
charge adv.4,000yen・Drink

hide with Spread Beaverメンバーとして「ROCKET DIVE」「ピンクスパイダー」等が大ヒット。GLAY「HOWEVER」等のサポートメンバーとしても活動し、NHK紅白歌合戦に出演。チルやアンビエントピアノで新境地を開拓中。

Crystal STUDIO

Safe concert 2LM 2nd Floor



TEL 052-733-0085

名古屋市中千種区吹上2-4-5 エルム2F



愛知出身・山西菜音が堂々主演

音楽座ミュージカル「リトルプリンス」



「リトルプリンス」(撮影・二階堂健)



北村しょう子



大須賀勇登



野田ゆかり

愛知出身の舞台アーティストが全国で大活躍している。7～8月に全国公演を行った東京二期会の「イオランタ／くるみ割り人形」では梶田真未と川越未晴が日替わりでヒロインを務め、10月3日に名古屋公演を行う音楽座ミュージカル「リトルプリンス」では、岡崎市出身の山西菜音が主役の王子を演じる。

音楽座は1998年、オリジナルミュージカル「シャボン玉とんだ宇宙（そら）までとんだ」で旗揚げ。その後も「マドモアゼル・モーツァルト」「メトロに乗って」など多

数のオリジナル作品を上演。「リトルプリンス」は1943年に「星の王子さま」のタイトルで出版され、世界的なヒット作となった小説のミュージカル版。

フランス人作家のアン
トワヌ・ド・サン＝テ
グジュペリが、パイロッ

着した「操縦士」と、彼が出会った「王子」が体感する不思議な出来事を、ファンタジックな舞台構成で再現する音楽座の代表作だ。

一般公演での主役が初となる山西は、名古屋市中村区の同朋高校音楽科ミュージカルコース在学中に音楽座のオーディションに合格し、卒業後の2021年に入団。サ

女の子の子と思われるいないので（笑）違和感はありません」と振擧を喜ぶ。

「王子役は（2時間半）出ずっぱり。激しい動きも多く、肉面的な表現力も求められるので大変です。自分と同じ若い世代に、スマホでは感じることの出来ないダイレクト

な世界を体感してほしい」と来場を呼び掛ける。また今作には山西だけでなく、北村しょう子（蟹江町）、大須賀勇登（安城市）、野田ゆかり（岡崎市）、毎原遥（名古屋市中区）、梅村匠（幸田町）ら5人の愛知県出身者が出演する予定だ。

音楽座ミュージカル
「リトルプリンス」名古屋
公演は10月3日(午後6
時30分)市民会館ビレッ
ジホール。全指定SP席1
万3200円、SS席1万
1000円、S席990
0円、A席6600円。TEL
0120(5003)40
4。

を学べた」と振り返る。デジャヴ劇場など、パリの有数の舞台に出演し、俳優にも挑戦。10年以上のパリ生活を終え、2年前に日本に拠点を移した。

3月にはファーストアルバム「THRILLING」をリリース。「都会的でポップな歌と、詩的でしっかりとした歌。自分のオリジナル曲の特徴が際立つア

仏との架け橋「エルム」に初登場



サンシローワールド

シンガーソングライター、ピアニスト、俳優

として多彩に活躍するサ
ンシローワールド。

音楽との出会いは、6
歳の時に兄弟と一緒に通
い始めたピアノ教室。20
歳頃にシャンソンに本格
的に興味を持ち、堀内環

「NO
efuji Aki」

Aki Fujita, a woman with short blonde hair, is shown from the chest up. She is wearing a blue t-shirt and a necklace. Behind her is a brick wall with a red electric guitar hanging on it. The text 'NO' is in large white letters with a blue outline, and 'efuji Aki' is in yellow text below it.

「聞き手・竹本真哉」

独りーの名手・近野賢一
10月1日 電気文化でリサイタル



近野賢一④とH・ジュディカー

ドイツリート（歌曲）

ドイツリート（歌曲）

をライフワークにするバリトン近野賢一と、盟友のピアノリストH・ジュディカーが10月1日（午後6時45分）電気文化会館でリサイタル「後期ロマン派を歌う」を開く。

以前の私は「歌曲のリサイタルは変化に乏しく退屈してしまう」と敬遠していたのだが、最近は人生経験を重ねたせいかわる「なかなか良いものではないか」と感じるようになった。



スタ・クラ6期生10人が始動

若手演奏家の育成プロジェクト「スター・クラシック・アカデミア」

の第6期生10人が決まり講習が始まった。応募者は16人と例年より少なかったが、レベルは高く、第一次書類と演奏動画、二次の実技と面接の審査で、演奏技術だけでなく、音楽に対する意欲や将来性などを総合的に判断した。

6期生はピアノが2人と少なく、ヴァイオリン、チェロが各一人、フルートが2人、クラリネット1人、トロンボーンが初めて選ばれた。打楽器ソプラノが各一人。管楽器

から演奏を変化させています。もし、それを読み取ることが出来れば、コンサートはさらに刺激的なものになるでしょう。

の名作。開演前には、演奏曲の解説やドイツ留学中のエピソードを交えた近野のプレトークが付く。全自由席4000円、学生2000円。TEL052(7333)8809。

ダンスケイト（バレエ&ダンス用品）
～ 移転しました～
オンライン
QRコード
新住所 〒460-0008愛知県名古屋市中区栄4-15-23
10階（1015号）★ライオンスマンション久屋公園10F

が多く、男性は応募者がなかった。このプロジェクトは、ミニコンを主体に約210の企業と個人の賛助を得て、公益社団法人

中部バレエフェス「眠れる森の美女」

10月5日 芸術劇場大ホールで

日本バレエ協会中部支部が10月5日（午後4時30分）愛知県芸術劇場大ホールで第46回中部バレエフェスティバル「眠れる森の美女」（マリウス・プティパ版）を上演する。



福岡 雄大



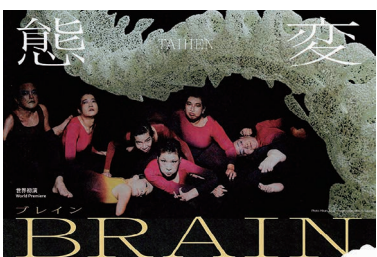
ゴージャスな舞台美術や衣装が必要になるため、単独のバレエ団では上演が難しいとされる大作。今回は主役のオーロラ姫に愛知県出身の吉田早織、相手役のフロリモンド王子に福岡雄大（新国立劇場バレエ団）を迎え、地元ダンサー98人、総勢100人のダンサーが出演する。

吉田は新国立劇場バレエ団、東京バレエ団を経て2018〜23年、Kバレエカンパニーに所属。「ロミオとジュリエット」「へるみ割り人形」ほか

金満里は3歳でボリオに羅漢し、全身麻痺の重度

身障者による舞踊団「態変(TAIHEN)」

9月26〜28日 芸術劇場で新作「BRAIN〜脳」初演



身障者になったが、後に「障がい自体を表現力に転じ、未踏の美を創り出すことができる」と「態変」を結成。各地で創作作品を上演している。

愛知公演では新作「BRAIN〜脳」(演出・金満里)を初演する。全自由席3500円、25歳以下2000円(当日は各500円増し)。TEL052(678)5310。

豊田オペラグルッポ 10月18・19日公演

宮崎 智永



「オペラを楽しく身近なものに」をモットーに1997年発足した「豊田オペラグルッポ」の第16回公演「コジ・ファン・トゥッテ」（日本語上演）が10月18日（午後6時）、19日（午後2時）豊田市

民文化会館小ホールで催される。モーツァルトの人気オペラ。2人の若い軍人と、美人姉妹が巻き起こすラブコメディ。出演は宮崎智永（藤原歌劇団）、中村真由子、野々山敬之、近藤加奈子、鈴木健司、川村友乃ほか。演出は井原義則、指揮は三河正典。全自由席3000円。TEL080(6919)6912。

木原の成長で作品の求心力アップ



「lost」(撮影・岡村昌夫／テス大阪)

かやの木芸術舞踊学園

全国屈指の実力、実績を誇る「かやの木芸術舞踊学園」(本部・津川市、学園長・木原創)が創立55周年を迎え記念公演を行った(7月20日・土岐市文化プラザ)。

同学園では主力が入れ替わり立ち替わりセン

母・娘がつぶり、充実の歌手人生



板倉恵三子④と歌奈子(撮影・杉江美知隆)

前半はアリアと歌曲、後半はポップス。ピアノ演奏は歌奈子の友人・加藤牧菜と、おなじみの伊藤昌司。何より驚いたのは「間もなく80歳になる」恵三子の歌声。音程に微塵の狂いもなく、声の強さは娘・歌奈子にも負けなかった。『老い』さえも「味」にしている。日頃の精進の賜物であった。歌うことが彼女の人生なのだ。納得した。良いコンサートだった。(シゲル)

後半は、芝居仕立てでモーツァルトの「老婆」を歌い、「椿姫」そは彼の

板倉恵三子&歌奈子
ベテラン歌手の板倉恵三子が、娘の板倉歌奈子とジョイントコンサートを開いた(7月12日・HITOMIホール)。母娘の共演は幾度もあるが、「五分五分の関係で共演するのは初」

舞台批評

しみを描いた群舞。木原のナイーヴなダンス、為す術もなくそれを見守る死者の哀しみ、そしてコロスの14人が心象的なダンスを展開。この日一番の秀作だった。

後者は10年振りの上演になる大掛かりなダンスミュージカル。木原が主人公カジモドを演じ、敵役(フロロ・判事)に神戸から増田唯一を迎えてドラマにメリハリが増した。かやの木のダンサーは、いずれも高い身体能力と技術を有しているが、益田のように個性的な役作りには欠けている。それが出来れば、作品はさらに面白くなるだろう。

下垣真希、叔父への弔意を込め



二胡のジャニー・パンファンらをゲストに迎えた豪華版で、思いを込めて熱唱する姿に、平和の貴さをあらためて痛感した。

「平和のコンサート」

ソプラノ下垣真希が、長崎に原爆が投下されて80年の日に開いた「平和のコンサート2025」(8月9日・メニコンシアターAoi)に写真。長崎の医大生だった叔父を原爆で亡くしたことから、長年歌い続けてきた「長崎の鐘」を中心に、語り交えて聴かせ感動を呼んだ。(上原)

価値ある存在ダンディーズの活躍

第43回パリ祭

クミコ、美川憲一ほか多数の人気シンガー、奏者を迎え、愛知県芸術劇場大ホールで開催されたシャンソン・ド・ブーケ主催の「第43回パリ祭」(7月14日)。

昨年も感じたことだが、一曲一曲にしっかりと振り付け、綿密な演出が施されている。多くの手間と時間を費やしてのステージである。

今年、山本リンダとROLEYの華やかな司会で進行。37人の出演者がメドレーを含め34曲を披露した。スペシャリストからビギナーまでレベルはマチマチだが聴衆の

舞台批評

反応は温かい。男性トリオダンディーズ「女性4人の「PARIS-SAMBLE」、若手9人の「PETIT-SAMBLE」がワキ役として随所に登場し舞台を盛り立てた。特に見栄えの良いダンディーズの存在は大きい。



スタイリッシュなダンディーズ

魅了された！遊び心満載の名演出

森高子バレエ教室

全幕物のハイライト版に遊び心を交え、流れるように再構築した構成と演出。なるほど、こうい



充実満足、創立75周年記念公演

五條流「珠園会」



「吉野山」を踊る五條園美と麗

るダンサーとバンダー頭(？)の有所謂。「コッペリア」「ドン・キホーテ」「海賊」(いずれも抜粋)ほかをスピーディーに展開。「水を得た魚」のように躍動する若いダンサーたちのステージに、すっかり魅了された。ソリストもコールドも実に楽しそうに踊っている。当然見る側も楽しく

なる。「ダンスは楽しく踊るもの」という指導者の考え方が、生徒たちに浸透しているようである。私が最も引かれたのは、「騎兵隊の休息」村の双子たちを踊った寺西創汰と寺西悠人。写真にケガ人の代役で他の作品にも登場した。身体能力、ダンスのセンス、そ

して恵まれた容姿。まったく申し分のない逸材である。市井のバレエ団には珍しく、男性陣のパワーが際立った。女性陣もミスなく大技をこなすし、日頃の研鑽ぶりを発揮した。「発表会」のレベルを超えた優れた公演だった。

戦後80年。戦後を代表する昭和の歌謡曲を私の好みで。戦後初のヒットは「リンドの唄」。その後「山小屋の灯」「星の流れに」「鐘の鳴る丘」「東京ブギウギ」「青い山脈」「長崎の鐘」「銀座カンカン娘」「あざみの歌」「東京キッド」

「月がとっても青いから」「ここに幸あり」「港町十三番地」「喜びも悲しみも幾年月」「東京のバスガール」「有楽町で逢いましよう」「星は何でも知っている」「古城」「南国土佐を後にして」「アカシアの雨がやむとき」「上を向いて歩こう」「いつでも夢を」「遠くへ行くたい」「高校三年生」

あぁ懐かしや戦後の昭和の流行歌

「学生時代」。

40年代「君といつまでも」「星影のワルツ」「知床旅情」「真夜中のギター」「喝采」「瀬戸の花嫁」「神田川」。

(上原宏)

斬新な企画ステージにブラヴォ！



「イオランタノくるみ割り人形」(撮影・寺司正彦)

くり人形(7月26日・愛知県芸術劇場大ホール)である。両作とも作曲はチャイコフスキー。演出はウィーン・フォルクス・オペラ・芸術監督のロッセ・デ・ベア、振付はウィーン国立バレエ団出身

の世界。アッと驚くキャラクターたちの斬新な衣装やダンスは、まさに夢の世界。コンテンポラリー版「くるみ」単独のステージも見たいものだ。

オペラ「イオランタ」は初見だったが、純真な父子の情愛がにじみ出る感動的な小品で、こちらのも単独で見たいと思った。イオランタを歌ったのは愛知出身のソプラノ

も中部フィルを指揮し「モーツァルトの饗宴」を公演し好評を博しているが、私が指揮者としての彼を見るのは初。興味津々で開幕を待った。果たしてマエストロ永見は、これ見よがしではなく、明確で冷静なタクトでオケを掌握。聴衆を納得させた。

ペラ「スベードの女王」この涙は何処からには人気のソプラノ奥村育子をソリストとして起用し喝采を浴びた。永見がメーンに据えたのは、チャイコフスキー「私の心の秘奥を最も

反映している曲とする「交響曲第4番。ベートーヴェンの「運命」に匹敵するとも言われる大曲を、事故なく完結させた。広く深い彼の音楽性とサービス精神が十二分に発揮された演奏会だった。

た。繊細な技量で久兵衛の人間性を描き出した園八王、艶やかな松山の生き様を表出した美佳園。主力ならではの名舞台だった。また杵屋六秋杵屋三太郎ら長唄連中の名調子にもしびれた。

楽しい！面白い！ロマンと、遊び心満載のスペシャルなステージだった。東京二期会のオペラと、東京シティ・バレエ団のコンテンポラリーバレエを一体化させた「イオランタノくるみ

マエストロ永見、堅実な手腕発揮



「くるみ割り人形」(撮影・岡村昌夫/テス大阪)

「チャイコフスキーの饗宴」の主演ソリストとして活躍している永見隆幸が、指揮者としても堅実な手腕を発揮した。中部フィルハーモニー交響楽団と共に演じた「チャイコフスキーの饗宴」(7月21日・愛知県芸術劇場コンサートホール)である。永見は昨年

様々な舞台のプロデューサーでもある彼は、聴くだけではなく、見ても楽しいステージを制作した。「くるみ割り人形」では8人のダンサーを登場させバレエの名場面を再現。オ

本気のクラシカル★ステージ

俺たちの『未だヒット曲のない音楽会』

平野 萩 菅沼 翔也 米谷 恭輔

PROGRAM 作詞：あおい英斗
ゴッドファーザー「愛のテーマ」/ニノ・ロータ
80日間世界一周「ウィクター・ヤング」
ピンクパンサーのテーマ「ハンリー・マンシーニ」ほか

2025.9.27 SAT 1st 13:30 開演 [13:00開場] 2nd 17:30 開演 [17:00開場]

Ticket [全自由席・税込] 前売3,500円/当日4,000円 高校生以下 2,000円

公演の詳細は 電話 052-935-1630 (平日10:00~18:00)

HITOMIホール 名古屋市中区葵三丁目21番19号 メニコンANNEX 5F

会員募集

「ナゴヤ劇場ジャーナル」では発行をご支援いただけるサポート会員を募集しています。会費は年間6600円(税込み)。会員には小紙を毎月お届けするほか、紙面に名前を掲載(希望者のみ)。会員の関係する公演、イベント情報を優先的に掲載させていただきます。

【お申し込み、お問い合わせ】
㈱マネージメント・プロ
TEL 052(508)5095
郵便振替口座 00880-6-206130

和光写真/㈱テス・大阪/㈱三光/Hide Dance Lab./㈱ビデオ教映社/松岡伶子バレエ団/エス・エー企画/Office KAN NORIKO BALLET STUDIO/かやの芸術舞踊学園/春日井市日本舞踊協会/メリー・アーティスト/カンパニー/関山スタジオ 特定非営利活動法人日本室内楽アカデミー 理事長 佐々木伊予子/ミュージカルアカデミー-KAO/(一社)復曲能を観る会 フィルハーモニー・ウィーン・名古屋/明珠会 山村菜乃/川島ナナバレエ研究所/スマイル・ミュージカル・アカデミー Rose Ballet Academy/越智インターナショナルバレエ/Rrバレエスタジオ 杉江瑠美/一般社団法人イタリア音楽振興会

ジャン・チャクムル
Piano Recital
Can Cakmur

2025.9.23(土) 18:00開演
愛知県芸術劇場コンサートホール

「Can Cakmur」は、インドネシアのジャババ島出身の作曲家・ピアニストジャン・チャクムルが、自身の作品を中心に、インドネシアの民謡や伝統音楽を現代音楽の手法で再解釈した作品。ピアノの音色で、ジャババ島の文化と歴史を表現する。

フィンランドの音楽風景
トオモストゥリャーを聴いて

2025.10.2(土) 18:00開演
愛知県芸術劇場コンサートホール

フィンランドの音楽風景を、トオモストゥリャーの音楽を通して表現する。トオモストゥリャーは、フィンランドの民謡や伝統音楽を現代音楽の手法で再解釈した作品。ピアノの音色で、フィンランドの文化と歴史を表現する。

KAERU ISHIKAWA
Piano Recital
石川 馨栄子

2025.10.4(土) 18:00開演
愛知県芸術劇場コンサートホール

石川 馨栄子、ピアノリサイタル。2025年10月4日(土) 18:00開演。愛知県芸術劇場コンサートホール。チケット価格：全席 ¥3,500(税込)。

上原宏の
☆音楽☆
聴き歩き

「聴き歩き」は、上原宏の音楽を聴きながら、名古屋の街を歩ける。上原宏は、日本の音楽界で活躍する作曲家・ピアニスト。彼の音楽は、日本の文化と歴史を表現する。



女性弦楽四重奏団「ロキ」の第4回演奏会(7月30日・HITOMIホール)上質なアンサンブルを満喫した。

四重奏団ロキ

実力者揃い、上質なアンサンブル

アンサンブルを満喫した。ヴァイオリンはヒルマ・ン良弓光(まゆみ)、小笠原優子、ヴィオラが為員香織、チェロは野村友紀。同世代の実力者揃いだ。ベートーヴェン「弦楽四重奏曲第3番」は、聴く機会が少ないが、もっと演奏されてもいい名曲だと再認識した。

息ぴったり名古屋ゆかりの名演奏

セントラル愛知

セントラル愛知交響楽団の「超一有名曲シリーズ」第11回(7月5日・愛知県芸術劇場)は、デビュー50周年を迎えたヴァイオリンの大谷康子を迎え、松尾葉子の指揮で協奏曲2曲という珍しいプログラム。

メンデルスゾーン「ヴァイオリン協奏曲」は、超有名。後半のサン・サーンス「ヴァイオリン協奏曲第3番」は、聴く機会が少ないが、もっと演奏されてもいい名曲だと再認識した。

PRAQUE PHILHARMONIA
プラハ・フィルハーモニア管弦楽団
交響曲第9番「新世界より」

2025.10.6(土) 18:00開演
愛知県芸術劇場コンサートホール

プラハ・フィルハーモニア管弦楽団の演奏。交響曲第9番「新世界より」。

SINFONIA VARSOVIA
シンフォニア・ヴァルソヴィア
交響曲第9番「新世界より」

2025.10.7(土) 18:00開演
愛知県芸術劇場コンサートホール

シンフォニア・ヴァルソヴィアの演奏。交響曲第9番「新世界より」。

Totani Masako
戸谷 誠子
ピアノリサイタル

2025.10.3(土) 18:00開演
愛知県芸術劇場コンサートホール

戸谷 誠子、ピアノリサイタル。2025年10月3日(土) 18:00開演。愛知県芸術劇場コンサートホール。チケット価格：全席 ¥3,500(税込)。

上原宏の
☆音楽☆
聴き歩き

「聴き歩き」は、上原宏の音楽を聴きながら、名古屋の街を歩ける。上原宏は、日本の音楽界で活躍する作曲家・ピアニスト。彼の音楽は、日本の文化と歴史を表現する。



女性弦楽四重奏団「ロキ」の第4回演奏会(7月30日・HITOMIホール)上質なアンサンブルを満喫した。

四重奏団ロキ

実力者揃い、上質なアンサンブル

重奏曲第7番「ラズモフスキー第1番」と、ショスタコーヴィチ「弦楽四重奏曲第3番」の大曲2つは、スリリングに聴きごたえがあるプログラム。ベートーヴェン中期の傑作「ラズモフスキー第1番」は、派手さはないが、内面的な抒情性に富む。女性らしい優しく品のある演奏だった。

息ぴったり名古屋ゆかりの名演奏

セントラル愛知

セントラル愛知交響楽団の「超一有名曲シリーズ」第11回(7月5日・愛知県芸術劇場)は、デビュー50周年を迎えたヴァイオリンの大谷康子を迎え、松尾葉子の指揮で協奏曲2曲という珍しいプログラム。

メンデルスゾーン「ヴァイオリン協奏曲」は、超有名。後半のサン・サーンス「ヴァイオリン協奏曲第3番」は、聴く機会が少ないが、もっと演奏されてもいい名曲だと再認識した。

究極の室内楽
辻井伸行 & ARKソリスト
交響曲第9番「新世界より」

2025.10.17(土) 18:00開演
愛知県芸術劇場コンサートホール

辻井伸行 & ARKソリストの演奏。交響曲第9番「新世界より」。

OKA SAYOKO
MEZZO SOPRANO
RÉCITAL vol.5

2025.10.17(土) 18:00開演
愛知県芸術劇場コンサートホール

OKA SAYOKO、MEZZO SOPRANO。RÉCITAL vol.5。

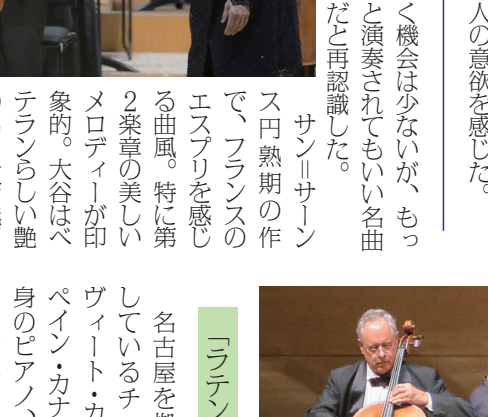
松本和将
世界音楽遺産
交響曲第9番「新世界より」

2025.10.17(土) 18:00開演
愛知県芸術劇場コンサートホール

松本和将の演奏。交響曲第9番「新世界より」。

上原宏の
☆音楽☆
聴き歩き

「聴き歩き」は、上原宏の音楽を聴きながら、名古屋の街を歩ける。上原宏は、日本の音楽界で活躍する作曲家・ピアニスト。彼の音楽は、日本の文化と歴史を表現する。



女性弦楽四重奏団「ロキ」の第4回演奏会(7月30日・HITOMIホール)上質なアンサンブルを満喫した。

四重奏団ロキ

実力者揃い、上質なアンサンブル

重奏曲第7番「ラズモフスキー第1番」と、ショスタコーヴィチ「弦楽四重奏曲第3番」の大曲2つは、スリリングに聴きごたえがあるプログラム。ベートーヴェン中期の傑作「ラズモフスキー第1番」は、派手さはないが、内面的な抒情性に富む。女性らしい優しく品のある演奏だった。

息ぴったり名古屋ゆかりの名演奏

セントラル愛知

セントラル愛知交響楽団の「超一有名曲シリーズ」第11回(7月5日・愛知県芸術劇場)は、デビュー50周年を迎えたヴァイオリンの大谷康子を迎え、松尾葉子の指揮で協奏曲2曲という珍しいプログラム。

メンデルスゾーン「ヴァイオリン協奏曲」は、超有名。後半のサン・サーンス「ヴァイオリン協奏曲第3番」は、聴く機会が少ないが、もっと演奏されてもいい名曲だと再認識した。

名古屋波の会 定期演奏会
～時代を超えて聴きたい名曲たち～

2025.10.25(土) 14:00開演
電気文化会館ザ・コンサートホール

名古屋波の会の演奏。定期演奏会。

弦・絃祭り
2025.10.30(土) 18:00開演
愛知県芸術劇場コンサートホール

弦・絃祭りの演奏。2025年10月30日(土) 18:00開演。愛知県芸術劇場コンサートホール。

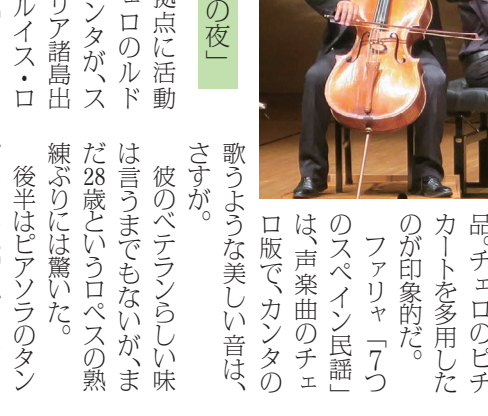
KAORUKO
五十嵐薫子
ピアノリサイタル

2025.11.15(土) 18:00開演
愛知県芸術劇場コンサートホール

五十嵐薫子、ピアノリサイタル。2025年11月15日(土) 18:00開演。愛知県芸術劇場コンサートホール。チケット価格：全席 ¥3,500(税込)。

上原宏の
☆音楽☆
聴き歩き

「聴き歩き」は、上原宏の音楽を聴きながら、名古屋の街を歩ける。上原宏は、日本の音楽界で活躍する作曲家・ピアニスト。彼の音楽は、日本の文化と歴史を表現する。



女性弦楽四重奏団「ロキ」の第4回演奏会(7月30日・HITOMIホール)上質なアンサンブルを満喫した。

四重奏団ロキ

実力者揃い、上質なアンサンブル

重奏曲第7番「ラズモフスキー第1番」と、ショスタコーヴィチ「弦楽四重奏曲第3番」の大曲2つは、スリリングに聴きごたえがあるプログラム。ベートーヴェン中期の傑作「ラズモフスキー第1番」は、派手さはないが、内面的な抒情性に富む。女性らしい優しく品のある演奏だった。

息ぴったり名古屋ゆかりの名演奏

セントラル愛知

セントラル愛知交響楽団の「超一有名曲シリーズ」第11回(7月5日・愛知県芸術劇場)は、デビュー50周年を迎えたヴァイオリンの大谷康子を迎え、松尾葉子の指揮で協奏曲2曲という珍しいプログラム。

メンデルスゾーン「ヴァイオリン協奏曲」は、超有名。後半のサン・サーンス「ヴァイオリン協奏曲第3番」は、聴く機会が少ないが、もっと演奏されてもいい名曲だと再認識した。

尾高 忠明 & 服部 百音
Tadaaki Otaka & Mone Hattori
ヴァイオリン協奏曲

2025.10.1(土) 18:45開演
愛知県芸術劇場コンサートホール

尾高 忠明 & 服部 百音の演奏。ヴァイオリン協奏曲。

東京交響楽団
オーケストラ・キャラバン 岐阜公演
～オーケストラの響きを街々へ～

2025.10.21(日) 19:00開演
サランカホール

東京交響楽団の演奏。オーケストラ・キャラバン 岐阜公演。

シプリアン・カツァリス
Cyprien KATSAVIS
ピアノリサイタル

2025.10.26(土) 13:30開演
愛知県芸術劇場コンサートホール

シプリアン・カツァリスの演奏。ピアノリサイタル。

クラシック名古屋
052-678-5310
名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル1F

クラシック名古屋の演奏。052-678-5310。名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル1F。

クラシック名古屋のチケットは
アイ・チケット 0570-00-5310
(11:00～16:00 ※土日祝休)

クラシック名古屋のチケットはアイ・チケット。0570-00-5310。11:00～16:00 ※土日祝休。

クラシック名古屋のプレイガイド
「アイ・チケット」
多くのクラシックコンサートのチケット販売から、ホール、座席のこまごまオペレーターが、丁寧に対応いたします。

クラシック名古屋のプレイガイド「アイ・チケット」。多くのクラシックコンサートのチケット販売から、ホール、座席のこまごまオペレーターが、丁寧に対応いたします。